

シーリングソイル工標準設計書

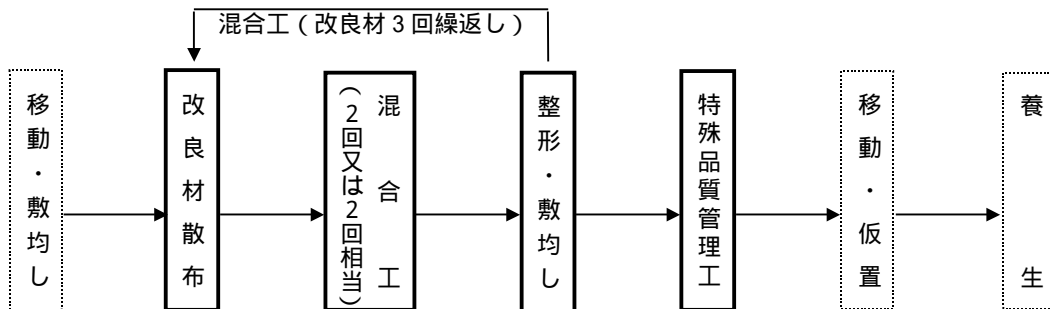
1. 適用範囲

仮置きした汚染土を改良ヤードにて敷均し、複数の改良材を混合して環境基準に適合するまで改良する。なお、通常の混合に適さない高含水土壌や泥濘状の汚染土については別途考慮する。

また、粘性土に複数の改良材を混合して遮水性と重金属の高吸着能をもった遮水シーリングソイルを作成する。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



(注) 本設計で対応しているのは、実線部分のみである。防塵対策のため改良材を対象土中にサンドイッチ状に挟む場合には別途考慮する。

3. 編成人員

編成人員は、次表のとおりとする。

表 3.1 混合工編成人員

名 称	単 位	数 量
世話役	人	1
特殊作業員	"	1
普通作業員	"	5

(注) 普通作業員の作業内容は、対象土の移動・敷均し・混合及び整形作業の補助労務、各種改良材の調整・散布及び手作業敷均し、改良材の率管理である。

表 3.2 特殊品質管理工編成人員

名 称	単 位	数 量
主任技師	人	1
技師 B	"	2

(注) 主任技師の作業内容は汚染土の安全管理並びに混合工の技術監理・改良土の目視品質管理・分析試料の採取調整、技師 B の作業内容は分析試料の採取及び簡易分析である。

4. 使用機械

シーリングソイル工に使用する機械は、次表のとおりとする。

表 4.1 使用機械

作業種別	機械名	規 格	単位	数量	
				60 cm以下	60 cmを超え 100 cm以下
改 良 材 散 布	トラッククレーン	油圧式 4.8～4.9t 吊	台	1	1
混 合 (混合深さ 60 cm以下)	スタビライザー	混合幅 2m 路床改良用 混合深さ 0.6m	〃	1	-
混 合 (混合深さ 60 cmを超え 100 cm以下)	スタビライザー	混合幅 2m 路床改良用 混合深さ 1.2m	〃	-	1
敷 均 し	モータグレーダ ブルドーザ	3.1m 級 15t 級	〃	1	1
移動・仮置き・整形	バックホウ	排出ガス対策型 クロウラ型 山積 0.45～0.7 級	〃	2	3

(注) 1. 現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。

2. バックホウ(クレーン仕様)は、「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠する機械である。

5. 日当り施工量

汚染土改良工の日当り施工量は、次のとおりとする。

表 5.1 日当り施工量

混合回数及び走行速度	単 位	数 量
2 回又は 2 回相当速度	m ²	690

(注) 1. 混合は不均質性を極力排除するため、2 回又は 2 回相当の走行速度を標準とする。ただし、土質状態によりこれにより難しい場合は、別途考慮する。

2. 改良材散布、混合、敷均し、整形を全て含んだ標準施工である。

3. 標準敷均し厚を 0.5m とすれば、混合回数 2 回相当を混合素材数によって 3 回繰り返すと、日標準施工土量は 115m³ である。

6. 諸雑費

諸雑費は、施工期間中の資材および汚染土の飛散防止(シート掛け等)及び降雨対策費用であり、労務費と機械運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として、必要に応じて計上する。

表 6.1 諸雑费率(%)

諸 雑 費 率	5

7. 工法使用料

工法使用料(特許使用料)は、次のとおりとする。

表 7.1 工法使用量

対象土量 1 m ³ 当たり	1,000 円

(注) 対象土量が相当大量のときは、別途協議する。